

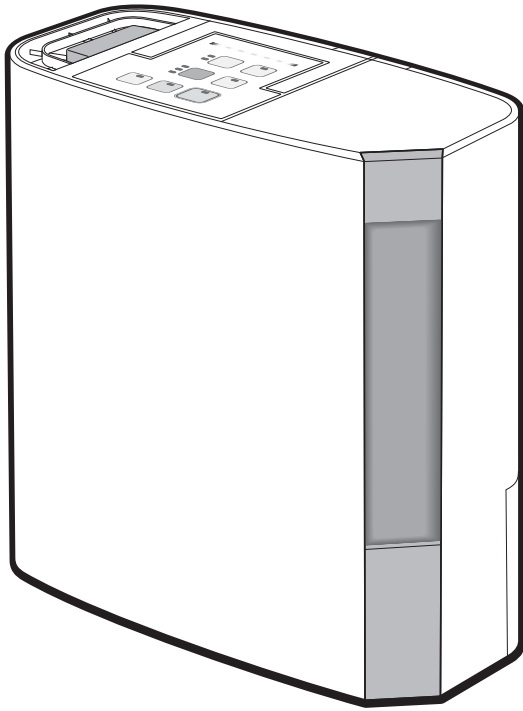
CORONA

(保証書付)
保証書はこの取扱説明書の裏表紙に付いています。

コロナ加湿器《ロータリー・ハイブリッド式(加熱気化式)》

取扱説明書

ユー エフ エイチ アール
型 式 **UF-H507R**
 UF-H727R



このたびは、コロナ加湿器をお買い上げいただきましてありがとうございました。

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり、それぞれの性能を十分にお心得になったうえで正しくご使用ください。

なお、お読みになった後もお使いになる方がいつでも見られる所に大切に保管してください。

もくじ

ページ

1	安全上のご注意	1~2
2	知っておいていただきたいこと	3
3	各部のなまえ	4~6
4	ご使用前の準備	5
5	運転の種類	6
6	使いかた	7~12
	■運転・モード切換・停止	7
	■設定湿度をかえるとき	8
	■切タイマー	9
	■チャイルドロック	10
	■水がなくなったとき	11
	■「フィルター乾燥」運転	12
7	お手入れのしかた	13~15
8	保管	16
9	このようなときには	16
10	仕様	17
11	修理・保証	17
	■お客様ご相談窓口一覧表	18
	■保証書	裏表紙

除菌材のセットのしかたは、

4ご使用前の準備(5ページ)をお読みください。

※除菌材は緩衝材の上面に貼り付けてあります。



株式会社 **コロナ**

1 安全上のご注意 (必ずお守りください)

- お使いになる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。表示と意味は次のようになっています。

- 警告** 誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。
- 注意** 誤った取り扱いをしたときに、傷害を負う可能性および物的損害のみの発生の可能性があるもの。

絵表示の例



⚠記号は注意を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は一般的な注意）が描かれています。



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。



Ⓜ記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は一般的な行為の指示）が描かれています。

- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

警告

改造は絶対にしない
サービスマン以外の人は、分解したり修理しない



分解禁止

(火災・感電・けがの原因)
修理はお買い上げの販売店またはコロナお客様ご相談窓口にご相談ください。

本体を水につけたり、水をかけたり、本体内に直接給水したりしない



水ぬれ禁止

(本体内部に水が侵入し感電・ショート・発火の原因)

交流100V以外では使用しない



幼児の手の届く所で使わない



(感電・けが・やけどの原因)

(火災・感電の原因)

差込プラグのほこりなどは定期的にとる



お手入れに塩素系、酸性タイプなどの洗浄剤は使用しない



(洗浄剤が残り、有毒ガスが発生して健康を害するおそれ)

(感電・ショート・発火の原因)

差込プラグは根元まで確実に差し込む



吸込口や吹出口などのすき間にピンや針金などの金属物など、異物を入れない



(感電・けがの原因)

(感電・発熱して発火の原因)

お手入れのときは必ず差込プラグをコンセントから抜く



プラグを抜く

電源コードや差込プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない



(感電・ショート・発火の原因)

(感電・けがの原因)

ぬれた手で差込プラグを抜き差ししない



電源コードをいためない



傷つける、引っ張る、束ねる、加工する、無理に曲げる、ねじる、重いものをのせる、はさみ込むなどしない。

(感電・けがの原因)

異常時（こげ臭いなど）は、運転を停止して差込プラグを抜き、修理を依頼する



プラグを抜く

(電源コードが破損し、火災・感電の原因)

(火災・感電の原因)

⚠ 注意

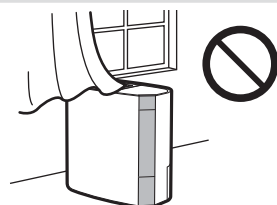
使用中や運転停止直後は、お手入れなど本体内部に触れない

(ヒーター周囲の高温部やファンに触れたりしてやけどやけがの原因)



吹出口や吸込口をふさがない

(変形・故障の原因)



凍結させない

(感電・故障の原因)

凍結のおそれのあるときは、タンクと水槽の水を捨ててください。



使用しないときは差込プラグをコンセントから抜く

(けが・やけど・絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因)



プラグを抜く

差込プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の差込プラグを持って引き抜く

(感電やショートして発火の原因)



水が入った状態では、本体を持ち運ばない

(水漏れ・けがの原因)

持ち運ぶときは、タンクや水槽の水を捨ててください。



除菌材を幼児の手の届く所に置かない

(幼児が誤って飲み込むおそれ)



不安定な場所で使わない

(転倒して水がこぼれる原因)



タンクや水槽の水は毎日新しい水道水と入れ替え、加湿フィルターや本体内部は常に清潔に保つよう、「お手入れのしかた」にしたがい定期的にお手入れする

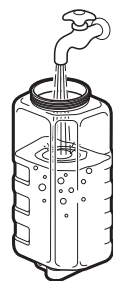
清掃せずに使い続けると、カビや雑菌が繁殖し、悪臭の原因になります。まれに体質によっては過敏に反応し、健康に良くないことがあります。この場合は医師に相談してください。



必ず水道水(飲用)を使う

一般的に水道水は塩素処理がされており、雑菌が繁殖しにくいからです。お湯(40℃以上)、化学薬品、汚れた水、芳香剤、洗剤を入れた水、浄水器の水、アルカリイオン水、ミネラルウォーター、井戸水などは使わないでください。

(部品の変形・変質、故障、カビや雑菌の繁殖による悪臭の原因)



正しい置き場所

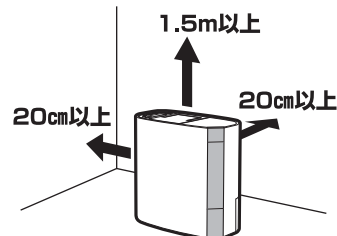
●水平で振動のない安定した場所

●吹出口から天井までの距離を1.5m以上、周囲の壁などまでの距離を20cm以上とってください

同じ場所で長時間ご使用の場合は、製品の下の汚れにご注意ください

(カビ発生のおそれ)

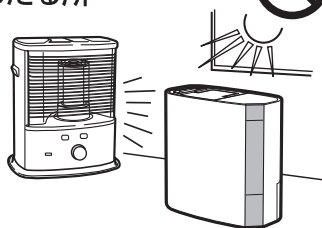
本体下の床面を定期的(3日に1回位)に清掃してください。



次の場所には置かない

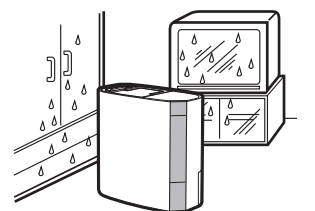
暖房器具などの近くで、高温になる所
エアコンなどの風が直接あたる所
直射日光のあたる所
油のつきやすい所

(プラスチック部品が変形、変質の原因
センサーが正しく働かなくなるおそれ)



吹出した風が直接家具、楽器類、テレビなどの電化製品、壁、天井などにあたる所

(家具などにしみや変形が起きたり、故障の原因)



テレビ・ラジオ・コードレス電話などの近く

(テレビ・ラジオ・コードレス電話などに雑音が入る原因)

1m以上離してください。



スピーカーや電磁調理器など、強い磁気のあるものの近く、磁石のつく鉄板の上

(誤動作する原因)

電化製品の上

(転倒すると感電・ショート・けがの原因)



2 知っておいていただきたいこと

ハイブリッド式（加熱気化式）加湿について

- ・加湿フィルターに風をあてて加湿する「気化式」と、風をヒーターで温めて気化を補助する「加熱式」を組み合わせた方式です。
- ・運転開始時はヒーターによる温風ですばやく加湿し、設定湿度になるとヒーターを切り、室温の風により省電力で加湿します。

●蒸気や霧は見えません

- ・加湿フィルターに風をあてて加湿する方式なので、スチームファン式や超音波式のように蒸気や霧は見えません。（タンクの水位が減っていれば加湿しています。）

●吹出口から出る風は暖かくありません

- ・水が気化するときには空気から熱を奪いますので、室温より少し低い温度の風が出ます。（条件によっては高くなる場合があります。）

●加湿量は湿度や温度の条件により変わります

- ・部屋の湿度が高いほど、また温度が低いほど加湿量が少なくなります。

●湿度表示は目安としてお使いください

- ・直射日光やエアコンなどの温風があたると湿度センサーが正しく感知しにくくなりますので、風・熱の影響を受けにくい場所へ置いてください。
- ・同じ部屋でも場所や高さにより湿度が異なります。
- ・加湿器の湿度センサーと湿度計では、精度や応答の速さなどが異なりますので、湿度表示は目安としてお使いください。

●設定湿度になっても加湿が停止しないことがある

- ・設定された湿度を保つため、湿度が設定湿度になっても加湿を続けているときがあります。

●本体を持ち運ぶときに「カラカラ」と音がすることがある

- ・転倒時運転停止機能用センサーのボールがころがる音ですので、異常ではありません。

●加湿運転中に「ポコポコ」・「ポコポコ」という音がすることがある

- ・タンクから水槽に水が供給される時タンク内に空気が入る音ですので、異常ではありません。

●「カチッ」・「シャリシャリ」という音がすることがある（運転開始時・停止時・運転中5分毎）

- ・加湿効率を上げるため運転中は約5分に1回加湿フィルターが回転するためスイッチの動作音や加湿フィルターがこすれる音がしますが、異常ではありません。
- ・加湿フィルターに水あか（白や茶色の固まり）が付着しているところすれ音が大きくなりますので、加湿フィルターのお手入れをしてください。（14ページ参照）

●本体背面が暖かくなることがある

- ・ヒーターをONにした運転のときは、本体背面の水槽が暖かくなりますが、異常ではありません。

お願い

●湿度の高い所（約70%以上）では「パワフル」で運転しないでください。

湿度が高いときには、家具や床を湿らせたり、ぬらすことがあります。

●暖房を止めたときは「パワフル」で運転しないでください。

室温が下がることにより湿度が上がるため、壁や天井に水滴がつくことがあります。

●お子様やお年寄りには注意してください。

お子様やお年寄り、ご病人のおられるご家庭では、加湿のしすぎや、本体の取り扱いなどに注意してあげてください。

●除菌材は他の目的に使用しないでください。

3 各部のなまえ

吹出口

加湿中でも蒸気や霧は見えません。

操作部

(5・6ページ参照)

水位窓

とって

ふた

内部にタンクがあります。

タンク

タンクとって

本体背面

湿度センサー

内部にあります。

吸込口

フィルターカバー

エアフィルター
内部にあります。

ファン
内部にあります。

キャップ

水槽

タンクを取り出さないと引き出せません。

電源コード

差込プラグ

水槽内部

加湿フィルター (消耗部品)

回転しますので左右の軸を水槽の溝に確実に挿入し、軽く押して回転することを確認してください。

除菌材

水槽内の雑菌の繁殖を抑えます。
(試験機関名：(財)新潟県環境衛生研究所
(試験方法：浸漬法(試験番号 環研K第799号))
水槽内の右図の位置にセットしてご使用ください。

フロート (水検知センサー)

テープなどで固定したり、取りはずしたりしないでください。

加湿フィルターは水槽内で自動的に回転します

- 運転を開始すると、加湿フィルターが回転して垂直位置で止まり、加湿をします。
- 運転中は加湿フィルターが約5分に1回180°反転し、全体を水に浸して、加湿性能を高めます。
- 運転停止時には加湿フィルターが回転し、水平位置で止まります。

■各部のなまえ

操作部

切タイマーキー

(☞9ページ)

運転をタイマーで自動的に止めたいときに使います。

切タイマーランプ

(☞9ページ)

切タイマーキーで設定した運転時間を表示します。

運転切換キー

(☞7・8ページ)

「自動」「パワフル」「静音」の運転モードを切換えます。
「自動」「エコ」運転時に3秒間押しと設定湿度を選べます。

運転モードランプ

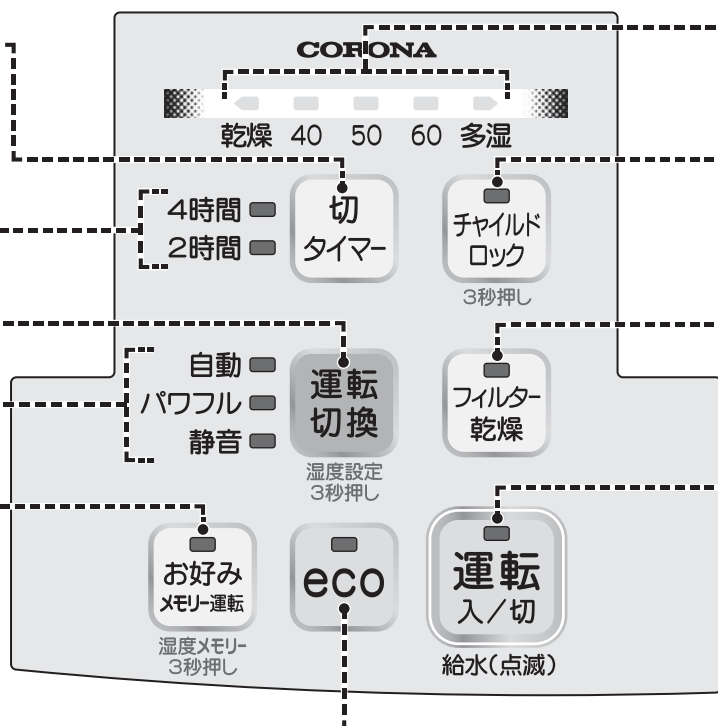
(☞7ページ)

「自動」「パワフル」「静音」の運転モードを表示します。

お好みメモリー運転キー

(☞7・8ページ)

お好みメモリー運転の選択・解除をします。
お好みメモリー運転のときにランプが点灯します。
設定湿度を記憶させるときには3秒間押しします。



4 ご使用前の準備

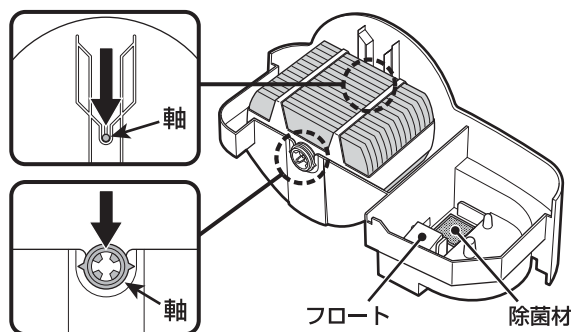
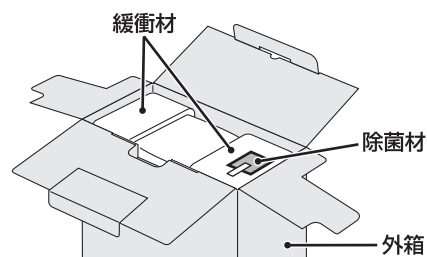
1 水槽内部を確認して、除菌材をセットする

除菌材は緩衝材の上面に貼り付けてあります。

- ①ふたをはずしてタンクを取り出し、水槽を引き出してください。
(水槽はタンクを取り出さないとはずれません。)
- ②加湿フィルターの回転を確認してください。
(加湿フィルターを軽く押して回転しないときは、加湿フィルターの軸を右図の位置にセットし直してください。)
- ③緩衝材に貼り付けてある除菌材をビニール袋から取り出し、除菌材を水槽内の右図の位置にセットしてください。
(除菌材は白い袋から出さずにご使用ください。)

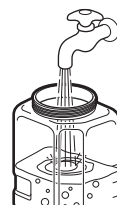
※フロートにはさまらないように注意してください。

- ④水槽を本体にセットするときは、加湿フィルターを水平にした状態で水槽の両端を両手で押さえ本体の奥まで確実にセットしてください。
(確実にセットされていないと運転入/切キーを押しても「運転」ランプが点滅(給水表示)して運転を開始しません。)



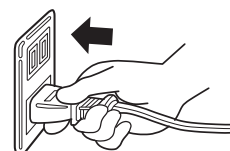
2 給水して、タンクをセットする

- ①タンクからキャップをはずして、きれいな常温の水道水を入れてください。
- ②キャップを確実に締め、こぼれた水をふきとり、水漏れがないことを確認してください。
- ③タンクを本体内に静かに入れ、タンクののっぺを倒し、ふたをセットしてください。



3 プラグを接続する

差込プラグを交流100Vのコンセントに差し込んでください。



湿度表示ランプ

現在湿度の目安および「自動」「エコ」運転の設定湿度を表示します。

乾燥	40	50	60	多湿
約35%未満	約35~45%	約45~55%	約55~65%	約65%以上

チャイルドロックキー (☞ 10 ページ)

チャイルドロックのセット・解除をするときに3秒間押します。
チャイルドロックがセット状態のときにランプが点灯します。

フィルター乾燥キー (☞ 12 ページ)

フィルター乾燥運転の選択・解除をします。
加湿運転中・停止中にかかわらず選択できます。
フィルター乾燥運転のときにランプが点灯します。

エコキー (☞ 7 ページ)

エコ運転の選択・解除をします。
エコ運転のときにランプが点灯します。

運転入/切キー (☞ 7 ページ)

運転を「入」「切」します。
「入」の場合、前回の運転モードで運転を開始します。
(電源投入後の初期状態からの運転は「自動」運転となります。)

運転ランプ (☞ 7・11 ページ)

運転中は点灯、停止中は消灯します。
タンクの水がなくなると点滅(給水表示)し、約30分加湿運転(静音運転)をしてから停止します。
(点滅は続きます。キーを押すと消灯します。)

5 運転の種類

「自動」運転 (☞ 7・8 ページ)

あらかじめ設定した湿度を目安として、一定の湿度となるように、ヒーターとファンを自動的にコントロールして加湿量を調節しながら運転します。湿度が高いときはファンが止まります。

設定湿度は、はじめてお使いになるときや、停電および差込プラグの抜き差しをした場合は50%に設定されます。

「パワフル」運転 (☞ 7 ページ)

「静音」運転 (☞ 7 ページ)

「パワフル」……ファンを強回転し、ヒーターをONにして、湿度に関係なく強加湿量で連続運転します。
「静音」……ファンを弱回転し、ヒーターをOFFにして、湿度に関係なく弱加湿量で連続運転します。
静かに加湿したいときなどに使います。

「パワフル」運転、「静音」運転は湿度のコントロールをしないで運転します。湿度の上がりすぎに注意してください。

「エコ」運転 (☞ 7・8 ページ)

あらかじめ設定された湿度を目安として、ファンを自動的にコントロールしながら運転します。ヒーターをOFFにしたエコ自動運転となります。湿度が高いときはファンが止まります。

「エコ」運転開始時は毎回設定湿度が40%に設定されます。

「お好みメモリー」運転 (☞ 7・8 ページ)

快適だと感じたときにお好みメモリー運転キーを3秒間押すと、そのときのお部屋の湿度が設定湿度となります。設定された湿度を目安としてヒーターとファンを自動的にコントロールして加湿量を調節しながら運転します。湿度が高いときはファンが止まります。

設定湿度は、はじめてお使いになるときや、停電および差込プラグの抜き差しをした場合は50%に設定されます。

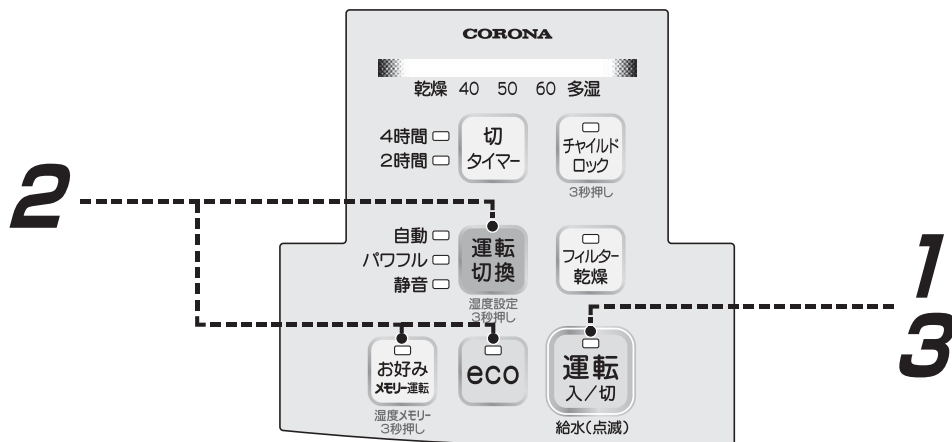
「フィルター乾燥」運転 (☞ 12 ページ)

ヒーターとファンをONにして加湿フィルターを乾燥させます。長期間使わないときなどに運転することでフィルターへのカビの繁殖を抑制します。フィルター乾燥運転時間は通常は約100分です。

水槽に残っている水の量によっては、最大約190分になります。

6 使いかた

運転・モード切換・停止



1 運転入/切キーを押す

約15秒後

「ピッ」と音がして運転ランプと自動ランプが点灯し、加湿運転を開始します。

- スタート後約15秒たつと現在湿度の目安を表示します。
- 水がないときや水槽がセットされていないと運転ランプが点滅し、給水メロディーでお知らせします。

2 お好みに応じて…

■運転切換キーを押す

「ピッ」と音がして運転モードランプが切り換わり、運転モードの切り換えができます。運転切換キーで「自動」「パワフル」「静音」の3つの運転モードを選択できます。

■エコキーを押す

「ピッ」と音がして運転モードが切り換わり、エコ運転モードになります。運転モードランプは消灯して、エコランプが点灯します。もう一度押すとエコ運転モード解除となり、エコ運転選択前の運転モードになります。設定湿度は40%、50%、60%のいずれかを選ぶことができます。(P.8ページ)

■好みメモリ運転キーを押す

3秒間押すとピピッ

「ピッ」と音がして運転モードが切り換わり、好みメモリ運転になります。運転モードランプは消灯して、好みメモリランプが点灯します。3秒間押すと「ピピッ」と音がして現在のお部屋の湿度を目安とした運転をおこないます。もう一度押すと好みメモリ運転解除となり、好みメモリ運転選択前の運転モードになります。

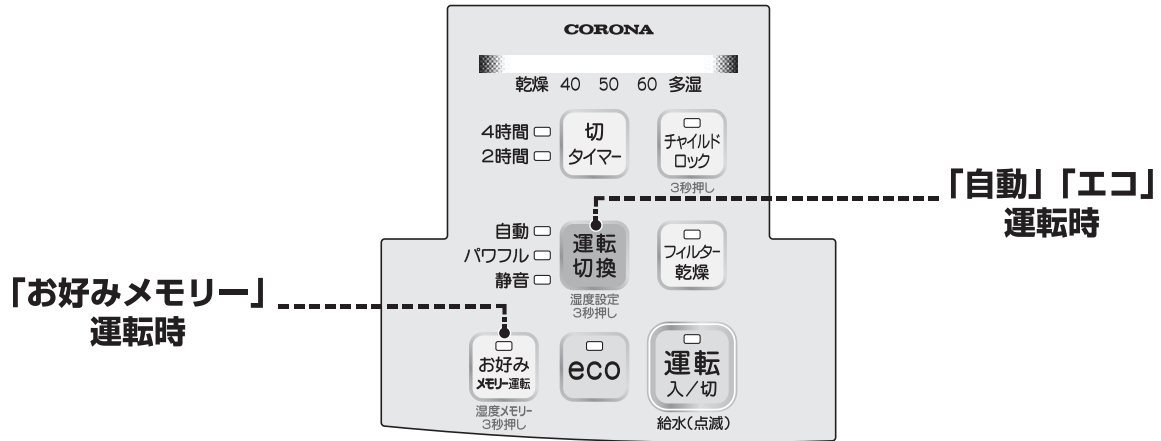
3 停止するとき…

運転入/切キーを押す

「ピー」と音がして全てのランプが消灯し、ファンが約30秒回転した後、加湿運転を停止します。

- チャイルドロックのセット状態で運転中に停止をした場合は、チャイルドロックランプは点灯のままで、チャイルドロックキー以外は操作ができなくなります。

設定湿度をかえるとき



【「自動」「エコ」運転時】

※設定湿度は40%、50%、60%のいずれかを選ぶことができます。

1 運転切換キーを3秒間押す



「ピピッ」と音がして湿度表示ランプが点滅し、現在の設定湿度を表示します。

2 湿度表示ランプが点滅中に運転切換キーを押す



「ピッ」と音がして設定湿度が変わります。お好みの湿度に合わせてます。

3 「ピピッ」と音がするまで待つ



湿度を設定してから約3秒以上そのままにしておくと再度「ピピッ」と音がして湿度が確定されます。設定湿度の表示(点滅)から現在湿度の表示(点灯)に戻ります。

【「お好みメモリー」運転時】

※設定湿度は現在のお部屋の湿度となります。(目安)

■お好みメモリー運転キーを3秒間押す

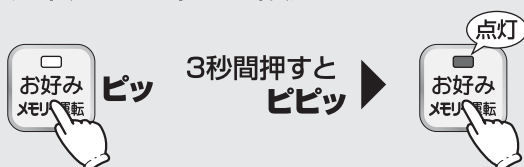
「お好みメモリー」運転中に設定するとき



「ピッ...ピピッ」と音がして現在のお部屋の湿度が設定湿度として記憶されます。

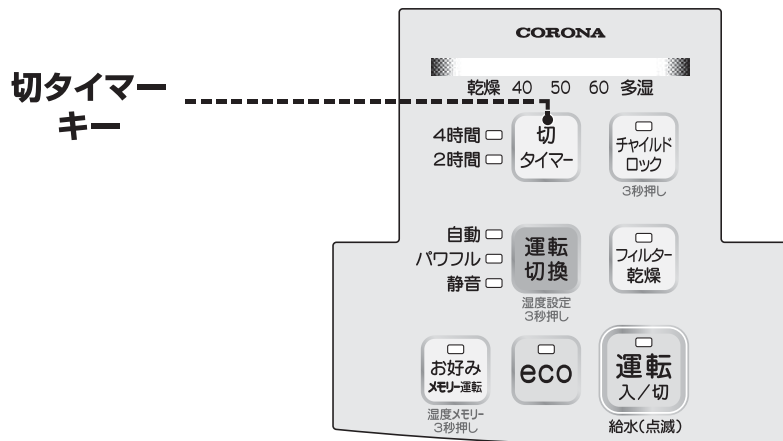
- 設定湿度の値を確認することはできません。設定湿度は記憶させたときのお部屋の湿度になっています。
- はじめてお使いになるときや、停電および差込プラグを抜き差しした場合は50%に設定されます。

他の運転モード中から設定するとき



切タイマー

設定した時間後に自動的に運転を停止します。



■ 運転中に切タイマーキーを押して希望の時間に設定する

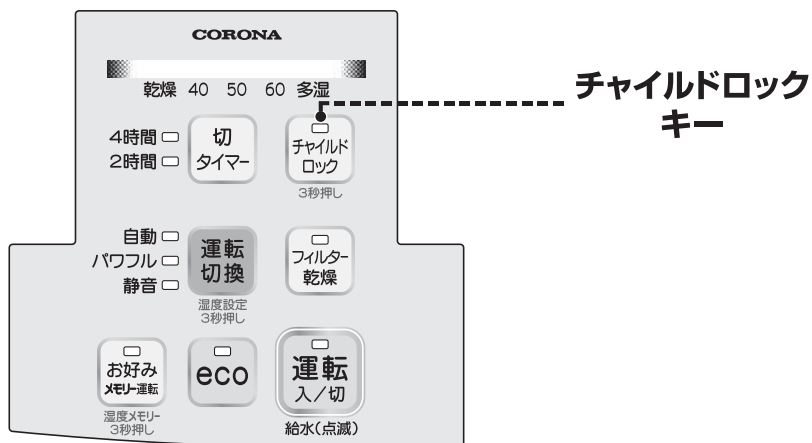


切タイマーキーを押すごとに「ピッ」と音がして表示が切り換わります。

- 設定した時間後に運転を停止し、ランプもすべて消灯します。(チャイルドロックセット時は、チャイルドロックランプは点灯のままとなります。)
- 切タイマーランプは、運転が停止して消灯するまで時間の経過に関係なく、設定した時間のランプが点灯を続けます。
- タンクの水量を確認してください。水量が少ないとタイマーが切れる前に水がなくなり、給水表示となります。(運転ランプが点滅し給水メロディーでお知らせし、運転が停止します。)

チャイルドロック

お子様などによるいたずら操作の防止や、誤って運転入/切キーを押しても運転しないようにしたいときに使います。



【セットのしかた】

■チャイルドロックキーを3秒間押す



「ピッ」と音がしてチャイルドロックランプが点灯します。

- 運転中または停止中でもセットできます。
- 運転中にチャイルドロックをセットすると、セット中は運転入/切キーでの運転停止操作以外は受け付けません。※
- 停止中にチャイルドロックをセットすると、セット中はすべての操作を受け付けません。※

※チャイルドロックの解除操作は受け付けます。

【解除のしかた】

■チャイルドロックキーを3秒間押す



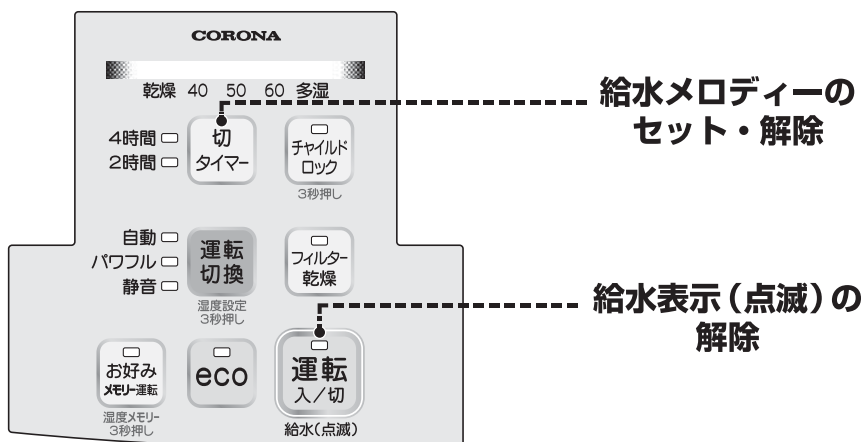
「ピッ」と音がしてチャイルドロックランプが消灯します。

- 運転中または停止中でも解除できます。

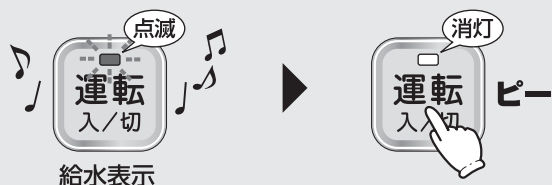
水がなくなったとき

タンクの水がなくなると、給水表示として運転ランプが点滅し給水メロディーでお知らせして、自動的に加湿が止まります。

- 運転ランプ点滅後、約 30 分ファンが回転します。その後、ファンが止まって運転を停止します。
(運転ランプは点滅したままです。)



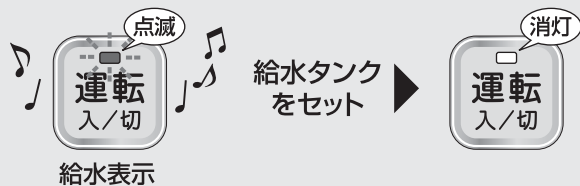
■ 給水表示中に運転 入/切キーを押す



「ピー」と音がして給水表示が解除されます。

- 運転ランプ点滅後の約 30 分のファン回転中はファンの回転を停止します。

■ 給水表示中に給水タンクをセットする



給水表示が解除されます。

- 再度運転するときには、運転 入/切キーを押してください。

【給水メロディーを鳴らしたくない場合 (解除)】

■ 運転停止中に切タイマーキーを3秒間押す



「ピッ」と音がして給水メロディーが鳴らなくなります。

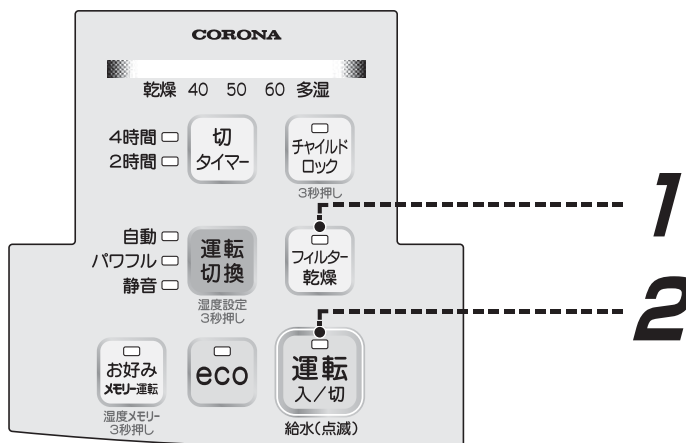
- もとに戻したい (セットする) 場合は、もう一度運転停止中に切タイマーキーを 3 秒間押してください。
- はじめてお使いになるときや停電および差込プラグの抜き差しをした場合は給水メロディーが鳴る設定になります。

ご注意

給水時、水槽内の水も捨ててください。水槽内の水には、水道水の不純物や空気中のほこり、加湿フィルターの抗菌剤などが濃縮されていますので、こまめに捨ててください。(臭いの原因になります。)

「フィルター乾燥」運転

加湿フィルターを乾燥させます。運転時間は通常は約100分で自動的に停止します。



【加湿運転中からの「フィルター乾燥」運転】

1 フィルター乾燥キーを押す



「ピッ」と音がしてフィルター乾燥ランプが点灯し、フィルター乾燥運転を開始します。

- フィルター乾燥キーをもう一度押すとフィルター乾燥運転選択前の運転モードに戻ります。
- 現在湿度の表示はしません。
- 切タイマー設定はできません。

2 停止するときは… 運転入/切キーを押す



「ピー」と音がして全てのランプが消灯し、フィルター乾燥運転を停止します。

【運転停止時からの「フィルター乾燥」運転】

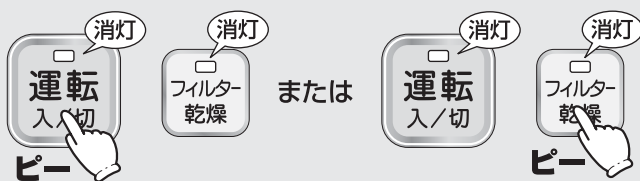
1 フィルター乾燥キーを押す



「ピッ」と音がしてフィルター乾燥ランプと運転ランプが点灯し、フィルター乾燥運転を開始します。

- 現在湿度の表示はしません。
- 切タイマー設定はできません。

2 停止するときは… 運転入/切キー、または フィルター乾燥キーを押す



「ピー」と音がして全てのランプが消灯し、フィルター乾燥運転を停止します。

ご注意

フィルター乾燥運転中および運転直後は水槽をはずさないでください。

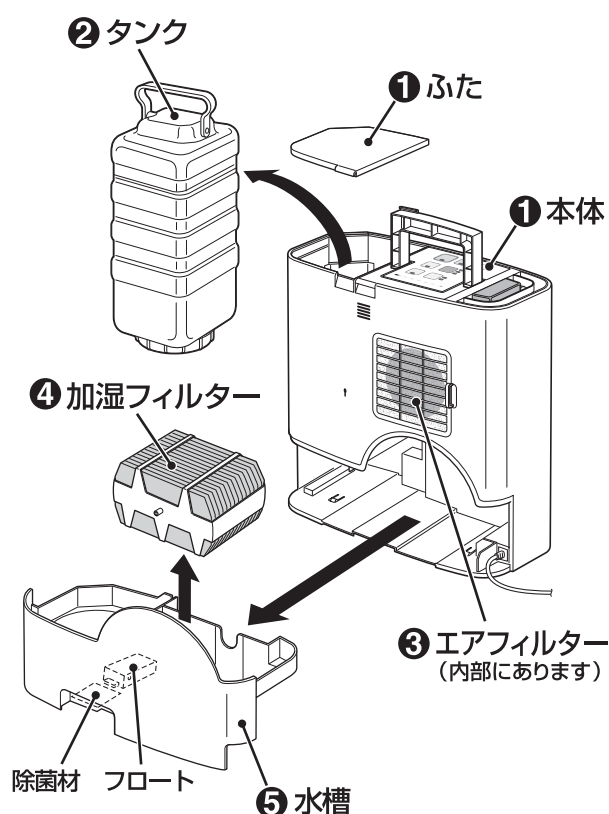
(本体内部(ヒーター周囲)が高温になっているため、本体内部が冷えるのを待ってから(約1分位)水槽をはずしてください。)

7 お手入れのしかた

本体の吸込口周辺、水槽回りは汚れやすいため、いつもきれいに清掃しておいてください。

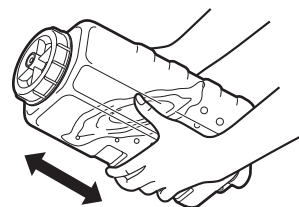
⚠ 注意

- ベンジン・シンナー・みがき粉などではふかない。(変色・変形の原因)
 - 水槽を取り出した後、本体内部の金属網に触れない。(けが・故障の原因)
-
- 必ず運転を止め、差込プラグをコンセントから抜いて、本体内部が冷えるのを待ってから(約10分位)お手入れをおこなう。(やけど・けがの原因)
 - 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書にしたがって使用する。(変色・キズの原因)
 - 清掃後は、必ず各部品を元通りにセットする。(やけど・けが・故障の原因)



1 本体・ふたの清掃 (1カ月に1回程度)
水を含ませた柔らかい布で汚れをふき取ってください。

2 タンク内の清掃 (毎日)
タンク内に水を半分ほど入れ、キャップを締めてタンクをよくふり、排水してください。(これを2~3回くり返します。)



3 エアフィルターの清掃 (1週間に1回程度)
フィルターカバーをはずし、エアフィルターを取り出し、掃除機などでエアフィルターのほこりを吸い取ってください。



※掃除機でエアフィルターを吸い込まないように注意してください。

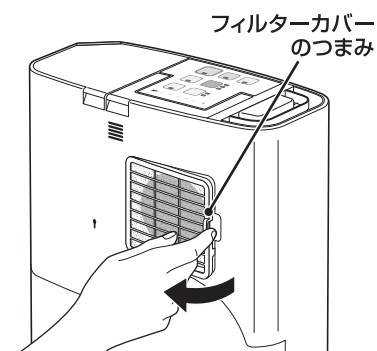
※使い続けるうちに変色することがありますが、使用上の不具合はありません。

- 汚れがひどくなりますと風の出かたが弱くなったり、正しい湿度検知をしなくなりますので、早めに清掃してください。
- エアフィルターの汚れがひどいときは、水またはぬるま湯でのつけ置き洗いが可能です。洗った後は、よくすすぎ陰干しして十分に乾燥させてください。

フィルターカバー、エアフィルターのはずしかた・取り付けかた

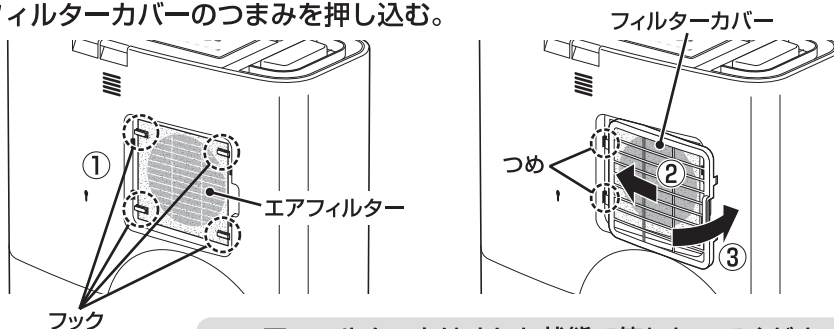
◎はずしかた

フィルターカバーのつまみを矢印の方向に引き、取りはずす。



◎取り付けかた

- ①エアフィルターをフック(4カ所)の下に差し込む。
- ②フィルターカバーの左側のつまめ(2カ所)をはめる。
- ③フィルターカバーのつまみを押し込む。



※エアフィルターをはずした状態で使わないでください。(本体内にホコリを吸い込み、故障の原因になります。)

④ 加湿フィルターと ⑤ 水槽の清掃 (2週間に1回程度)

お願い

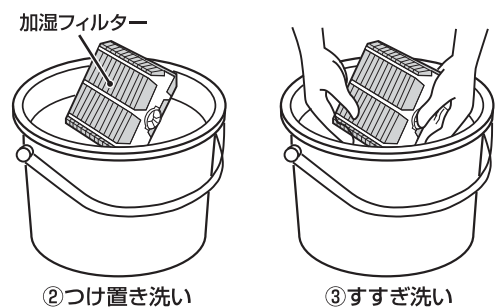
- 加湿フィルターは分解しない。
(バラバラになり、再使用できません。)
- 指定以外の洗剤は使わない。
(変形・変色・割れの原因になります。)
- 加湿フィルターや水槽は確実にセットする。
(取り付けが確実にないと運転しません。)
- 水槽の脱着はゆっくりとおこなう。
(水がこぼれ、床をぬらすおそれがあります。)
- 除菌材は乱暴に扱わない。
(袋がやぶれるおそれがあります。)

- (1) ふたとタンクを本体からはずす。
- (2) 水槽を本体から引き出し、加湿フィルターを上方に持ち上げ取りはずす。
- (3) 除菌材を取りはずす。
※除菌材をなくさないように注意してください。
- (4) 水槽内の水を捨て、歯ブラシなどで水あか、汚れを落とし、水洗いする。
※フロートははずさないでください。
- (5) 加湿フィルターを洗淨する。
※加湿フィルターの枠をはずさないでください。(変形・損傷の原因になります。)

- ①水またはぬるま湯(約40℃以下)に指定の洗剤を入れて溶かす。
指定の洗剤:「花王 ワイドマジックリン®」
(「ワイドマジックリン®」は花王(株)の登録商標です。)
使用量:水1Lあたり約9gの割合で入れてください。

- ②加湿フィルターを入れてつけ置き洗いをする。(約30分~60分)
※力を加えないでください。(変形・損傷の原因になります。)

- ③すすぎ洗いをする。
新しい水に入れ換え、加湿フィルターをゆすりながらすすぎ洗いを2~3回くり返す。



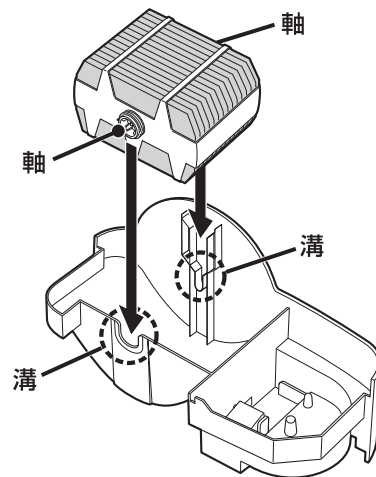
水あか(白や茶色の固まり)が落ちにくいときはクエン酸をご使用ください。

- ①水またはぬるま湯(約40℃以下)にクエン酸を入れて溶かす。
使用量:水1Lあたり約10g(大さじ1杯)の割合で入れてください。
(濃度が高いと加湿フィルター損傷の原因になります。)
クエン酸は薬局・薬店で市販されているものをご使用ください。
クエン酸は食品添加物で食品衛生上は無害ですが、幼児の手の届かない所で保管してください。
- ②加湿フィルターを入れてつけ置き洗いをする。(約2時間)
- ③すすぎ洗いをする。
新しい水に入れ換え、加湿フィルターをゆすりながらすすぎ洗いを2~3回くり返す。
(クエン酸の成分が残ると、臭いや故障の原因になります。)

■お手入れのしかた

(6) 加湿フィルターを水槽に取り付ける。

加湿フィルターの軸を水槽の溝に確実に挿入します。
加湿フィルターを軽く押して回転することを確認してください。

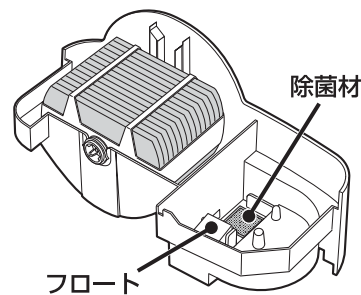


※軸を水槽の溝に合わせて挿入する。

(7) 除菌材を取り付ける。

水槽の図の位置に入れてください。

※フロートにはさまらないように注意してください。
※除菌材の表面が緑色に変色する場合がありますが、異常ではありません。そのままご使用になれます。汚れは布などでかるくふきとり水洗いしてください。

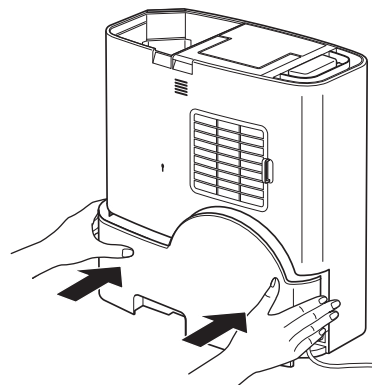


※加湿フィルターを水平にする。
入りづらいときは少し回転する。

(8) 水槽を本体に取り付ける。

加湿フィルターを水平にして、水槽を本体の奥まで挿入してください。取り付けが確実でないと、「運転」ランプが点滅（給水表示）したり、加湿フィルターが回転しなかったりして、運転しません。

（水槽が奥まで入りづらいときは加湿フィルターを手で少し回して角度を変えて挿入しなおしてください。）



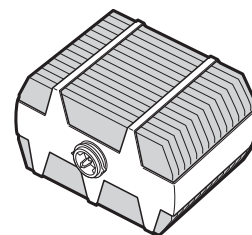
※水槽を両手で奥まで押し込む。

(9) タンクとふたを取り付ける。

加湿フィルターの交換時期の目安：2シーズン（1日8時間運転の場合で約12カ月）

交換用加湿フィルター（型式UF-H9）希望小売価格2,100円（税抜2,000円）
（価格は2007年9月現在）

- お手入れしても次のような場合は2シーズン（約12カ月）以内でも交換してください。
 - ・臭いや水あかが取れない。
 - ・傷みや型くずれがひどい。
- 水質により、加湿フィルターの寿命は異なります。
- 古い加湿フィルターは不燃物として廃棄してください。



加湿フィルター

8 保 管

「お手入れのしかた」(13～15ページ参照)にしたがいお手入れ・清掃をした後、本体内部の水分をよくふき取り、陰干しして十分に乾燥させてから、取扱説明書とともにお買い上げ時の箱などに納めて、湿気の少ない所に保管してください。特に加湿フィルターや除菌材は、カビの発生を防ぐため十分に陰干ししてください。

9 このようなときには

次のような症状のとき、異常でないことがあります。下表を参考にもう一度確認してください。

「知っておいていただきたいこと」(3ページ)もご参照ください。

症 状	点検するところ	処置のしかた
運転しない	差込プラグがはずれていませんか。	差込プラグをコンセントに差し込む。(P.5ページ)
	チャイルドロックがセットされていませんか。	チャイルドロックを解除する。(P.10ページ)
加湿しない、送風しない	「多湿」ランプが点灯していませんか。	「自動」「エコ」運転のときは湿度が高いと加湿を停止します。さらに加湿が必要なときは、「パワフル」運転に切り換えてください。(P.7ページ)
	「運転」ランプが点滅(給水表示)していませんか。	給水してから  キーを押す。(P.11ページ)
	加湿フィルターが水槽に正しくセットされていますか。	加湿フィルターを正しくセットする。(P.5ページ)
部屋の湿度が上がらない	部屋が適用床面積より広すぎていませんか。	適用床面積を目安に使用する。(P.17ページ)
	換気したり、床がじゅうたん敷きではないですか。	換気状態、床・壁の材質、敷物により、湿度が上がりにくいことがあります。
送風量が少ない	「静音」運転や「自動」「エコ」運転を設定していませんか。	「静音」運転や湿度の高いときの「自動」「エコ」運転では送風量が少なくなります。「パワフル」運転に切り換えると送風量が多くなります。(P.7ページ)
	加湿フィルターやエアフィルターにほこりやゴミが付着していませんか。	「お手入れのしかた」にしたがい清掃する。(P.13～15ページ)
タンクに水が入っているのに「運転」ランプが点滅する(給水表示)	水槽が本体に確実にセットされていますか。	水槽を本体に確実にセットする。(P.15ページ)
	フロートに水あかや異物が付着していませんか。	フロートやその周りを清掃する。(P.14ページ)
	除菌材がフロートにはさまっていませんか。	除菌材を正しい位置にセットする。(P.5ページ)
臭いが出る	水が古くなっていたり、加湿フィルターやエアフィルター、水槽内部が汚れていませんか。	水槽やタンクに残っている水を捨て、「お手入れのしかた」にしたがい清掃する。(P.13～15ページ)
「湿度表示ランプ」の値と他の湿度計の値が違う	直射日光やエアコンなどの風があたっていませんか。	置き場所を変える。(P.2ページ)
「パワフル」ランプが点滅して運転しない パワフル 	本体が極端に傾いているか、転倒していませんか。	本体を起こして  キーを押してランプを消灯し、再度  キーを押してください。
「自動」ランプが点滅して運転しない 自動 	水槽や加湿フィルターが正しくセットされていますか。	 キーを押してランプを消灯し、水槽と加湿フィルターを正しくセットし、再度  キーを押す。
切タイマー「2時間」ランプが点滅して運転しない 2時間 	吸込口や吹出口がふさがれていたり、エアフィルターが目づまりしていませんか。	エアフィルターの清掃をする。(P.13ページ)
上記以外のランプが点滅して運転しない	部品の故障です。	差込プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはコロナお客様ご相談窓口にご相談ください。(P.17・18ページ)

10 仕様

(50/60Hz)

型 式	UF-H507R	UF-H727R
電 源	交流 100V 50/60Hz	
加湿量 (室温20℃・湿度30%) ※1	(パワフル) 500mL/h (静音) 160mL/h	(パワフル) 720mL/h (静音) 200mL/h
消 費 電 力	(パワフル) 180W (静音) 10/11W	(パワフル) 345W (静音) 12/13W
運 転 音 ※2	(パワフル) 39dB (静音) 23dB	(パワフル) 40dB (静音) 29dB
連 続 加 湿 時 間	(パワフル) 約8時間 (静音) 約25時間	(パワフル) 約5.6時間 (静音) 約20時間
適用床面積 (目安) ※3	木造和室	8.5畳 [14m ²]
	プレハブ洋室	14畳 [23m ²]
タ ン ク 容 量	約4.0L	
電 源 コ ー ド	約1.5m	
外 形 寸 法	幅 355mm × 高さ 362mm × 奥行 165mm	
質 量	約3.9kg	
別 売 品	交換用加湿フィルター UF-H9	

- ※1 部屋の温度・湿度によって加湿量が変わります。
温度が高い、または湿度が低いほど加湿量は多くなります。温度が低い、または湿度が高いほど加湿量は少なくなります。
- ※2 運転音は本体正面前方1m、高さ1mの位置で測定した値です。
- ※3 日本電機工業会規格 (JEM 1426) に基づき、プレハブ住宅洋室の場合を最大適用床面積とし、木造和室の場合を最小面積としたものです。ただし、壁・床の材質、部屋の構造、使用暖房器具などによって適用床面積は異なりますので、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 長時間使用しないときは、差込プラグをコンセントから抜いてください。運転を「停止」していても約0.5Wの電力を消費します。
 - この製品は改良のため仕様の一部が変わることがあります。

11 修理・保証

修理サービスについて

- 加湿器の補修用性能部品の保有期間は製造打切後6年です。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。詳しくはお買い上げの販売店またはお近くのコロナお客様相談窓口にご相談ください。
- 保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

修理を依頼されるときは

「知っておいていただきたいこと」(3ページ)・「このようなときには」(16ページ)を調べていただき、それでも異常があるときは、運転を停止して差込プラグを抜いたのち、お買い上げの販売店にご連絡ください。
ご連絡の際には、つぎの4点をはっきりとご連絡ください。

- 型式 (品番) } 保証書をごらんください。
- お買い上げ日 } (「保証書」はこの取扱説明書の裏表紙に付いています。)
- 故障内容
- ご住所・ご氏名・お電話番号

保証書について

- このコロナ加湿器には「保証書」が付いています。(「保証書」はこの取扱説明書の裏表紙に付いています。)
- 保証書はお買い上げの販売店でお渡しいたしますので、必ずお受け取りください。万一故障した場合には、保証書記載内容により、保証期間内は無料修理いたしますので、保証書記載内容をご確認のうえ大切に保管してください。
 - 保証書にお買い上げ日、販売店名など所定事項の記入がないと有効とはなりません。もし記入がないときは、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。
 - このコロナ加湿器の保証期間はご購入いただいた日から1年です。
(ただし、加湿フィルターは消耗品ですので、保証期間内でも有料とさせていただきます。)
保証書の記載内容によりお買い上げの販売店が修理いたします。
その他詳細は保証書をごらんください。



愛情点検

長年ご使用の加湿器の点検を！

このような
症状は
ありませんか

- 水漏れがする。
- 本体が異常に熱くなる。
- 運転中異常な音がする。
- その他の異常や故障がある。

故障や事故防止のため、運転を停止し、コンセントから差込プラグを抜いてください。
点検・修理についての費用など、詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。

コロナ 加湿器保証書

持込修理

品番	UF-H507R	UF-H727R
★ お 客 様	ご芳名	
	ご住所 〒(-)	
	電話 () -	

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買上げの日から左記期間中故障が発生した場合は、商品と本書をご持参の上、お買上げの販売店に修理をご依頼ください。

★お買上げ日		年 月 日	★ 販 売 店	住所・店名
保 証 期 間	対象部分	本 体 (加湿フィルターを除く)		電話 () -
	期 間 (お買上げ 日より)	見 本 1 年		

★印欄に記入のない場合は、無効となりますから、必ず記入の有無をご確認ください。

《無料修理規定》

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で保証期間中に故障した場合には、お買上げ販売店が無料修理致します。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、商品と本書をご持参の上、お買上げの販売店に依頼してください。
3. 出張修理を行った場合には、出張料はおお客様の負担となります。
4. 持込修理の対象商品を直接修理窓口へ送付した場合の送料などはお客様の負担となります。
5. ご事情により、本保証書に記入してあるお買上げ販売店に修理をご依頼できない場合には、コロナお客様ご相談窓口一覧表をご覧の上、お近くの窓口にお問合せください。
6. 次の場合には保証期間内でも保証の対象外となります。
 - (イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
 - (ロ) お買上げ後の輸送、落下等による故障及び損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧などによる故障及び損傷
 - (ニ) 業務用としての使用、車両、船舶への搭載など一般家庭用以外に使用された場合の故障及び損傷
 - (ホ) 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
 - (ヘ) 本書の提示がない場合
7. 本書は日本国内においてのみ有効です。
8. 本書は再発行致しませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買上げの販売店又は、お近くのコロナお客様ご相談窓口にお問合せください。
 ※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは取扱説明書をご覧ください。



株式会社 **コロナ**

〒955-8510
 新潟県三条市東新保7-7
 TEL (0256) 32-2111